

確率統計学概論 解答例

2013.11.06

■ サイコロを繰り返し投げ、次の規則に従って、動点 P は数直線上の整数点を右に移動していく。

- (a) 最初の時点での動点 P は原点の上にある。
- (b) サイコロを投げて、1 の目が出たときには 2 つ進み、それ以外のときには 1 つ進む。

このとき、原点から数えて k 番目の点を動点 P が踏む確率を求めよ。

(解) 原点から数えて k 番目の点を動点 P が踏む確率を p_k 、飛び越える確率を q_k とする。このとき、各 k に対して $p_k + q_k = 1$ であり、

$$q_0 = 0, \quad q_{k+1} = \frac{1}{6} \cdot p_k = \frac{1 - q_k}{6} \quad (k = 0, 1, 2, \dots)$$

をみたす。

$$q_{k+1} - \frac{1}{7} = \frac{1 - q_k}{6} - \frac{1}{7} = \left(-\frac{1}{6} \right) \cdot \left(q_k - \frac{1}{7} \right) = \left(-\frac{1}{6} \right)^{k+1} \cdot \left(q_0 - \frac{1}{7} \right) = -\frac{1}{7} \cdot \left(-\frac{1}{6} \right)^{k+1}$$

より

$$q_k = \frac{1}{7} \cdot \left\{ 1 - \left(-\frac{1}{6} \right)^k \right\}, \quad k \geq 0$$

となる。したがって、求める確率は

$$p_k = 1 - q_k = \frac{1}{7} \cdot \left\{ 6 + \left(-\frac{1}{6} \right)^k \right\}, \quad k \geq 0$$

である。 ■